

定期監査の概要

1 定期監査（財務監査・行政監査）の概要

(1) 対象所属

66 所属

(2) 監査対象年度

令和4年度

(3) 定期監査の視点及び行政監査の項目

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項に規定された定期監査（財務監査・行政監査）について、同法第198条の3第1項に規定する四日市市監査基準に基づき、市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、また、事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資するため監査を実施した。

監査等に当たっては、事務・事業の合規性及び正確性の視点はもとより、経済性、効率性、有効性の視点に加えて、事務・事業におけるリスクの存在と、それに対して内部統制が適切に整備・運用されているかを監査の着眼点とした。

また、定期監査（財務監査）に並行して行う行政監査として、行政運営が公正で効率的かつ効果的に行われているかを主眼として、次の項目について監査を実施した。

- ① 時間外勤務の状況
- ② 業務執行上懸案となっている事項
- ③ 内部事務における管理・牽制体制の構築状況
- ④ 前回の定期・行政監査の指摘事項及び意見についての対応

(4) 監査の結果

部局名	所属	勧告	指摘	意見	評価	監査サイクル	
						3年	4年
財政経営部	6	0件	7件	65件	0件	○	
市立四日市病院	4	0件	3件	25件	0件	○	
都市整備部	12	0件	9件	126件	5件	○	
教育委員会	8	0件	5件	83件	2件	○	
環境部	4	0件	4件	34件	1件	○	
監査事務局	1	0件	0件	12件	0件	○	
地区市民センター	6	0件	0件	24件	1件		○
保育園・幼稚園・こども園	10	0件	0件	27件	1件		○
小学校・中学校	15	0件	1件	22件	3件		○
合計	66	0件	29件	418件	13件		

- ① **勧告**：法令、条例、規則に違反しているもので、市の行財政運営や市民生活に重大な影響を及ぼすもの など
- ② **指摘**：経済性、効率性、有効性の観点や住民福祉の向上のため、直ちに改善を要するものやその他適正を欠く事項で是正する必要があると認められるもの など

③ 意見：改善方法の検討などを促し、又は注意する必要があると認められるものや監査委員が特に要望する必要があると認められるもの など

④ 評価：評価すると意見があった取り組み

⑤ 注意事項：事務処理の誤りなど、速やかな是正を口頭にて注意したもの
件数は多く適正な事務の確保のため、内部統制を有効なものとする必要がある。

●注意事項（件数）

	収入事務	現金等管理	支出事務	契約事務	公有財産管理	物品備品管理	公印管理	文書管理	（人事管理 時間外勤務）	その他	計
財政経営部			5	1		7	2	5	5		25
市立四日市病院			4	3				1	1		9
都市整備部		2	12	7		6		13	16		56
教育委員会		2	9	4		1		8	7		31
環境部		2	21	3	1	5	2	4	4		42
監査事務局			3						2		5
地区市民センター		2	1		1	3	1	1	1		10
保育園・幼稚園・こども園	2		20			2		2	6		32
小学校・中学校			9		5	7	1	5	1		28
合計	2	8	84	18	7	31	6	39	43		238

2 監査の着眼点

（1）想定されるリスクからの着眼点

監査等の対象に係るリスクが及ぼす影響の重要度の評価を踏まえて設定する。

この重要度の評価を行う場合においては、「リスクの発生可能性の程度」と「リスクが発現した場合の被害又は影響の程度」の2つの指標から行い、いずれの指標も高いものを影響の重要度が高いリスクとする。

（2）3E（経済性、効率性、有効性）等からの着眼点

監査等の対象の事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的（より少ない費用で実施すること）、効率的（同じ費用でより大きな成果を得ること）かつ効果的（所期の目的を達成していること、また、効果を挙げていること）に行われているか、住民の福祉の増進に寄与しているか等の視点から設定する。

3 監査の結果

財政経営部 財政課 （詳細はP32～37）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 【意見】

指 摘

職員の時間外勤務が恒常化しており、厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、年間1,000時間を超える時間外勤務の状況を改善するとともに、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 各所属の適正な予算編成や予算執行事務における内部統制上のリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 監査に対する適切な取り組みについて
- ③ 適正な予算編成について
- ④ 予算編成におけるデジタル分野の推進について
- ⑤ 補助金の適正執行について

財政経営部 行財政改革課 （詳細はP38～41）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 新地方公会計の理解促進について
- ③ 指定管理者制度について
- ④ 公共施設の適正化について
- ⑤ 継続的に契約している委託業務の費用について
- ⑥ 食糧費の支出について

財政経営部 管財課 （詳細はP42～48）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 【意見】
- ② 職員配置のリスク 【意見】
- ③ 公有財産の全庁的な掌握等に係るリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指摘

- ① 内部事務管理について

ア 内部事務の基本的な部分で、事務処理誤りが複数見受けられた。これは、職員の業務に関する知識不足や単純なミスに加えて所属内でのチェック・牽制体制が十分に機能していないことに要因がある。所属長は定められたルールに基づいた事務執行の意識を職員に定着させるとともに、所属において発生しやすいミス等によるリスクを認識させ、

日常的に確認すべき事項を定型化して確認するなど、内部チェック体制を整備して、内部事務管理の徹底を図ること。

イ 管財課が所管する備品について、年度末の備品実査及び所属長による抽出実査が実施されていなかった。公有財産の全庁的な全品掌握・異動手続きの指導等を行っている所属としての役割を改めて強く認識し、年度末に確実に実査を行うこと。

ウ 公用車管理システム対象外の共用自動車（マイクロバス等）の運行日誌について、運転前後の車両点検、酒気帯び確認のチェック漏れ、運行日時の不整合（1台の車につき日時の重複）が見受けられた。また、運行日誌の様式が、2回分の運行について1回の酒気帯び確認のチェック欄しか設けておらず、様式の抜本的な改正が必要である。庁用自動車の管理及び配車管理を所管する所属として、全庁的な内部統制を適切に機能させること。

② 天津国際温泉高^ご爾^る夫^ふ倶^く楽^ら部^ぶ保^ほ証^じ金^{きん}について

天津国際温泉高爾夫倶楽部会員権を、国際親善を目的に所有しているが、全庁でゴルフ会員権を所有している所属は他にない。国際親善を目的に所有を継続するのであれば、当課ではなく、国際交流を所管する秘書国際課に所管換することが妥当であると考えられることから、早急に所管を見直し、所管換の後に利用の方策を検討するよう引き継ぐこと。

意見

- ① 事務分掌について
- ② 公有財産管理システムについて
- ③ マイクロバスの保有について
- ④ 委託契約の履行確認について
- ⑤ 公有財産の管理について
- ⑥ 職員体制の確保について
- ⑦ 庁舎・総合会館の有効活用について
- ⑧ 新丁ひろば駐車場について
- ⑨ 財産管理について
- ⑩ 指定管理業務における牽制について
- ⑪ 検知器による酒気帯び確認の義務化に向けた対応について

財政経営部 市民税課 （詳細はP49～53）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が多く見受けられた。

前年度以前よりは所属全体の平均時間外勤務数が減少している一方で、所属長は、引き続き、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業

務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 税の適正な賦課決定が行われないリスク【意見】
- ③ 業務委託の単独随意契約における価格形成についてのリスク
- ④ 現金管理におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 税の公平性の担保について

財政経営部 資産税課（詳細はP54～59）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置のリスク
- ③ 個人情報取り扱いに関するリスク
- ④ 登記済通知のオンライン化による税務システムへの登録もれに係る課税誤りのリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 家屋調査における事務継承について
- ③ 公用車事故について
- ④ 委託契約の履行確認のマニュアルについて
- ⑤ 償却資産の申告の周知について
- ⑥ 大規模災害が起こった際の罹災証明書について
- ⑦ 不動産登記について

財政経営部 収納推進課（詳細はP60～65）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が多く見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 現金の管理におけるリスク【意見】
- ③ 個人情報の取り扱いにおけるリスク
- ④ 滞納整理の適正執行におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 効果的な収納業務の推進について
- ③ 滞納整理業務における福祉部門との連携について
- ④ 債権管理推進本部の活用と効果的な税外債権の徴収について
- ⑤ 徴収業務における職員の安全確保について

市立四日市病院 総務課・経営企画課・施設課・医事課 (詳細はP66～78)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘【総務課】【経営企画課】【施設課】

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が多く見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 業務の継承におけるリスク
- ③ 契約の適正執行におけるリスク【意見】
- ④ 病院専門職の確保におけるリスク【意見】
- ⑤ 現金等の取扱いにおけるリスク
- ⑥ 病院施設の老朽化におけるリスク
- ⑦ 滞納債権の適正な徴収対策におけるリスク【意見】

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について【総務課】【施設課】【医事課】
- ② 障害者雇用の推進について【総務課】
- ③ ESCO事業の効果について【施設課】
- ④ 駐車場用地の借入について【施設課】
- ⑤ 会計年度任用職員雇用の効果検証について【総務課】
- ⑥ 病院経営について【全所属】
- ⑦ 病院の警備について【総務課】【施設課】【医事課】
- ⑧ 就職準備金について【総務課】

都市整備部 都市計画課 (詳細はP79～85)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受

けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組む、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 公有財産の管理におけるリスク
- ④ 負担金の支出におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 住み替え支援促進事業と補助金の活用について
- ③ 四日市あすなろう鉄道の利用促進と内部・八王子線基金の運用について
- ④ 自動車運転免許の自主返納に対する取り組みについて
- ⑤ 現金の取り扱いについて
- ⑥ 四日市市都市計画マスタープラン地域・地区別構想について
- ⑦ 効果的なバス事業の展開について
- ⑧ 住宅セーフティネットの推進について

都市整備部 建築指導課 （詳細はP86～91）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 空き家の適正な管理におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 補助金の交付申請書について
- ③ ブロック塀等安全対策について
- ④ 木造住宅耐震化促進事業について
- ⑤ 職員の資格取得支援について

都市整備部 開発審査課 （詳細はP92～96）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 庶務担当者の配置上のリスク
- ③ 現金管理におけるリスク【意見】
- ④ 開発許可処分及び建築許可処分におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について

- ② 研修で得た知識等の共有について
- ③ 職員体制について
- ④ 大規模盛土造成地の調査等について
- ⑤ 開発審査会の日程調整について

都市整備部 市街地整備課 (詳細はP97～102)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が多く見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行いながら、職員を守るためにもしっかりと働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 備品が適正に管理されないリスク **【意見】**
- ③ 補助金の適正執行におけるリスク **【意見】**

指 摘

補助金交付要綱の条文の中で、申請者の条件の整合性がとれていない部分がある。トラブルが生じないように、至急要綱の見直しを行うこと。

また、狭あい道路については複数の制度があり混乱が生じるため、整理し、PRの際には誤解を招かないよう留意すること。

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘

例規の適正な整備について

市街地整備課の主要事業である土地区画整理事業において、末永・本郷土地区画整理事業は令和3年度に事業が終了しているものの、関係する規程・規則等が現存している状態であるため、早急に規程・規則等の廃止を行うこと。

意 見

- ① 内部事務管理について
- ② 中心市街地の活性化について
- ③ JR四日市貨物駅移転事業用地の活用について
- ④ 経験やスキル等の継承について
- ⑤ 寄附を受けた後退用地の整備について
- ⑥ 預金通帳の管理について

都市整備部 営繕工務課 (詳細はP103～108)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

評 価

建設業の2024年問題を見据え、営繕工務課では令和5年4月以降、週1回のノ一残業デーを確実に実施し、所属長による執務室の消灯等時間外勤務の削減に取り組んでいることを評価したい。今後も所属長のリーダーシップを発揮し、時間外勤務の削減に取り組まれない。

② 職員配置におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見

- ① 内部事務管理について
- ② 長寿命化対策工事の増加について
- ③ 営繕年報について
- ④ 施設のフェーズフリー化について
- ⑤ タブレットの管理について
- ⑥ 職員の育成について

評 価

業務の効率化について

タブレットを導入することで、図面等を印刷する時間の短縮や用紙の削減に努めるとともに、現場でのスムーズな対応を実現するなど、業務の効率化を図っている。今後、さらなる業務の効率化の推進に期待したい。

都市整備部 公園緑政課 （詳細はP109～115）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 公有財産の管理におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 四日市市緑化基金の活用と今後の緑化施策について
- ③ 公園等の取得手続きについて
- ④ 組織改編後の部内の協力体制について
- ⑤ 花と緑いっぱい事業における補助金について
- ⑥ 公園管理のボランティア育成について
- ⑦ 安全な公園の整備について
- ⑧ 公園使用料等の収入未済について
- ⑨ 緑化推進委員会について
- ⑩ 業務委託先への車両の貸付について

都市整備部 道路建設課 （詳細はP116～120）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が多く見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 職員配置におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 前年度繰越事業について
- ③ タブレットを活用した業務改善について
- ④ 設計書の積算誤りの防止について
- ⑤ 工事請負契約について
- ⑥ 除草作業の委託業務について

都市整備部 道路維持課 （詳細はP121～125）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が多く見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確

認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

② 道路建設課との連携に係るリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 道路損傷通報システムについて
- ③ タブレット端末の活用について
- ④ 道路・公園照明灯のLED化について
- ⑤ 単独随意契約について
- ⑥ 除雪対策について

都市整備部 河川排水課 （詳細はP126～131）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

評価

事業の集約化などによって時間外勤務が減少していることは評価できる。引き続き職場のチームワークを発揮し、時間外勤務が増加することのないよう努め、働きやすい職場環境づくりに取り組むこと。

- ② 職員配置におけるリスク【意見】
- ③ 適正な契約事務の執行におけるリスク【意見】
- ④ 公有財産の管理におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 総合治水対策について
- ③ 公益財団法人リバーフロント研究所への出捐金について
- ④ 地域維持型道路・河川等維持修繕業務委託について
- ⑤ 市内の工事業者の育成について

都市整備部 道路管理課 （詳細はP132～136）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置のリスク【意見】
- ③ 市営駐車場の割引認証機の管理に係るリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 事務分掌について

- ③ 交通安全の啓発について
- ④ 職員のメンタルケアについて
- ⑤ 借地について
- ⑥ 指定管理業務における牽制について

都市整備部 用地課 (詳細はP137～141)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク **【意見】**
- ② 金券管理におけるリスク **【意見】**
- ③ 地籍調査の体制におけるリスク **【意見】**

**2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
意見**

- ① 内部事務管理について
- ② 地権者対応による休日出勤について
- ③ 他部局で行う用地取得の連携について
- ④ 技術職員配置の要求について
- ⑤ 単独随意契約の締結について
- ⑥ 地籍調査の進め方について
- ⑦ アルコールチェックについて
- ⑧ 業務における官民の連携について
- ⑨ 大規模災害発生時の所属の役割について

都市整備部 市営住宅課 (詳細はP142～147)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク **【意見】**
- ② 適正な契約事務の執行におけるリスク **【意見】**
- ③ 住宅使用料及び住宅新築資金等貸付金の滞納者と連絡がとれなくなるリスク

**2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
指摘**

例規の適正な整備について

市営住宅課の取扱業務を定めている、総務課所管の「四日市市役所処務規程」において、住宅系の業務である、「住宅新築資金等貸付金の償還に関する事」が管理係に記載されていた。総務課と調整のうえ、適切な形に改正すること。

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 市営住宅に四日市大学生が入居する取り組みについて
- ③ 市営住宅入居者の高齢化について
- ④ 予算の不用額の発生について
- ⑤ 市営住宅の維持管理等に係る経費について

評価

- ① 市営住宅使用料の現年度収納率について

令和4年度は市営住宅使用料の現年度収納率が100%であり、評価したい。ファイナンシャルプランナーの資格を持った会計年度任用職員も複数いることから、事務のノウハウの継承を行い、引き続き高い水準での収納率を維持できるよう努めること。

② 市営住宅に四日市大学生が入居する取り組みについて

大学生が市営住宅に入居することで、高齢者も安心して生活できる部分があると思われるため、今後の事業の拡大も検討されたい。

市民生活部 地区市民センター (詳細はP150～156)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員配置におけるリスク
- ② 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ③ 証明書等の交付におけるリスク
- ④ 現金の管理におけるリスク 【意見】

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果
意見

<共通事項>

- ① 内部事務管理について
- ② 業務の継承について
- ③ 地区活動団体、民生委員等の担い手について
- ④ 地区活動の再開について
- ⑤ タブレット端末の使用方法について
- ⑥ 他地区で行っている事業の活用について
- ⑦ マイナンバーカードの普及体制について
- ⑧ 館内掲示物の掲示方法について
- ⑨ 地区市民センター図書館の活用方法について
- ⑩ 窓口業務及び会計年度任用職員の労務管理について

【羽津地区市民センター】【楠地区市民センター】【日永地区市民センター】

- ⑪ 委託事業について

【羽津地区市民センター】

- ⑫ 金庫の鍵の取り扱いについて
- ⑬ 施設内の整理について
- ⑭ 地場製品の展示について

【常磐地区市民センター】

- ⑮ 地区まちづくり構想の推進について
- ⑯ 災害発生時への備えについて

【楠地区市民センター】

- ⑰ 施設の有効活用について

【日永地区市民センター】

- ⑱ 看板表示について
- ⑲ 放置自転車について

【日永地区市民センター】

評 価

窓口における整理券交付について

窓口混雑時に、A4サイズの大きな整理券を交付してスムーズな窓口対応に努めている。待機者の安心にもつながり、評価する。

こども未来部 保育園・幼稚園・こども園 (詳細はP157～164)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

- ① 出先機関のリスク【意見】
- ② 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ③ 施設の補修が速やかに行われないリスク【意見】
- ④ 多様化する課題に対する保護者支援が不十分となるリスク

【保育園・こども園共通事項】

- ⑤ 複雑な雇用形態の中での情報共有阻害のリスク【意見】

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

- ⑥ 経験年数の少ない職員が不安を抱え込むリスク

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意 見

【保育園・幼稚園・こども園共通事項】

- ① 内部事務管理について
- ② 職員の研修について
- ③ エアコンの設置について

【保育園・幼稚園・こども園・保育幼稚園課】

- ④ 四日市市立保育所処務規程及び四日市市教育委員会教育長所管事務専決規程について

【全保育園】

- ⑤ 保育・教育施設向けICTサービス「C o D M O N」について

【ときわ保育園】

- ⑥ 職員間のコミュニケーションについて
- ⑦ あそぼう会での保護者への対応について

【海蔵保育園・常磐中央幼稚園・羽津幼稚園】

- ⑧ 園環境の整備について

【海蔵保育園・常磐中央幼稚園】

- ⑨ 現金の取扱いについて

【海蔵保育園】

- ⑩ 消火器の設置方法について
- ⑪ 特別支援を必要とする園児のサポートについて

【常磐中央幼稚園】

- ⑫ 災害発生時への備えについて
- ⑬ 登園の安全確認について
- ⑭ 事業所との連携強化について

評 価

【羽津幼稚園】

園の整備について

羽津幼稚園の園内や園庭はきれいに使用されており、美化に努めている。倉庫等も整理整頓がなされていた。引き続き、園の管理を行うこと。

教育委員会 小学校・中学校 (詳細はP165～171)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

【小・中学校共通事項】

① 教職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】

指 摘【楠小学校、常磐西小学校、羽津北小学校、常磐小学校、羽津中学校、三滝中学校、常磐中学校、楠中学校、山手中学校、南中学校】

教職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認を行うこと。加えて、教職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めるとともに、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を図ること。

② 理科薬品の適正な管理におけるリスク【意見】

【中学校共通事項】

③ 教員の部活動における業務負担に関するリスク【意見】

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見

【小・中学校共通事項】

- ① 内部事務管理について
- ② 市費による教員配置の効果について
- ③ 学校業務アシスタント等の効果的な活用について
- ④ 特別支援を要する児童・生徒への対応について
- ⑤ 学校内におけるいじめ、不登校等への対応について
- ⑥ 教育におけるICT活用について
- ⑦ コミュニティスクール等の活用について
- ⑧ 校内の環境整備について
- ⑨ 耐火書庫の設置場所について
- ⑩ 備品等の適正管理について
- ⑪ 教職員の自動車運転に関する確認について
- ⑫ AEDの使用について

評 価

【羽津中学校】

自動採点システムの試行導入について

無料の自動採点システムを試行的に導入しており、教員の負担軽減につながっている。また試験結果の分析を通じて、生徒の理解の傾向などの把握が容易にできるといった利点もあり、令和6年度からは全校への導入が検討されているとのことである。こうした

先進的な取り組みを率先して実施していることは評価できる。

【日永小学校】

用具等の収納方法の周知について

体育館倉庫の入口ドア自体に、各体育用具が収納された状態の写真が貼られており、ドアを開ける前から、収納場所や収納の仕方がわかるようにしていることは効果的な取り組みであり、他校でも導入されたい。

【泊山小学校】

消耗品の効率的な使用について

複数台ある印刷機のうち、更新予定の近い印刷機を優先的に使用するようアナウンスする用紙を印刷機に貼っておくことで、インクの効率的な使用を促すなど、学校全体で運営の無駄を減らすことを意識した取り組みが評価できる。

教育委員会 教育総務課 (詳細はP172～177)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 事務の継承に係るリスク
- ③ 教育委員会内の内部統制が適切になされないリスク **【意見】**
- ④ 教育委員会内の条例、規則等の制定改廃における法的審査にかかるリスク **【意見】**

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘

四日市市奨学会への奨学金返還金について

令和4年度の四日市市奨学会への奨学金返還金は、返還予定額 44,986千円（現年度分18,015千円、過年度分26,971千円）に対して、累積滞納額 27,761千円 収納率38.3%という状況であり、中には昭和時代の滞納分もある。

令和4年度から四日市市奨学金条例に基づく新たな奨学金制度もできたことから、四日市市奨学会が貸与した奨学金の滞納も含め、統一した債権管理の考え方を整理すること。整理に当たっては、市の債権管理推進本部や、私債権について法的措置も行っている市営住宅課とも情報交換を行い、適切な債権管理を行う体制づくりを行うとともに、公平性に配慮した教育支援のあり方についても再検討すること。

意 見

- ① 内部事務管理について
- ② 四日市市奨学金について
- ③ 小菅科学教育振興基金について
- ④ 学校規模適正化について

教育委員会 教育施設課 (詳細はP178～182)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク **【意見】**
- ② 原課契約工事の執行に係るリスク
- ③ 財産の適正管理におけるリスク **【意見】**
- ④ 大規模改修工事により学校運営に支障が出るリスク

- ⑤ 学校施設の外壁落下による児童・生徒への安全確保ができないリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 行政財産の目的外使用許可の手続きについて
- ③ 滞納金の債権管理について
- ④ 樹木の管理について
- ⑤ 体育館へのエアコンの導入について
- ⑥ 児童・生徒アンケートにおける満足度評価の目標値について
- ⑦ 学校敷地内の石碑の管理について
- ⑧ P F I 事業について

教育委員会 図書館 （詳細はP183～187）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク
- ② 現金管理におけるリスク
- ③ トラブル・災害時におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 負担金の支出について
- ③ 職員間の情報共有について
- ④ 資料収集と蔵書構成について
- ⑤ 蔵書管理のシステム化による事務の効率化について
- ⑥ 係名や事務分掌について
- ⑦ 電子図書館について
- ⑧ 作品展の P R について
- ⑨ 新図書館のあり方について

教育委員会 博物館 （詳細はP188～192）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク 【意見】
- ② 収蔵品の適正管理に係るリスク

指 摘

膨大な数の収蔵品の実査について、11年間で行われた実査は全体の半数ほどにとどまっている。一年間における具体的な実査数量や、全体を対象とする実査の完了目標などを明確にした実査計画を作成し、確実に実査を進めること。

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 四日市公害と環境未来館との連携について

- ③ 調査研究事業について
- ④ 人員配置について
- ⑤ プラネタリウムの発信について

評 価

ベビーカーDAYの取り組みについて

乳児・幼児と保護者等のみを入場の対象とする「ベビーカーDAY」を令和4年度に7回設け、多くの参加者があり、評価する。さらに、特別支援を要する子どもにも、気兼ねなく文化に触れたり知的要求に応えることができるよう、同様の取り組みを検討すること。

教育委員会 学校教育課 (詳細はP193～199)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、働きやすい職場環境づくりを行い、働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組む、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 学校における事務処理等における内部統制上のリスク【意見】

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

指 摘

業務委託における履行確認の適正実施について

業務委託において、履行確認が職員の確認印のみで行われている事例が見受けられた。本来必要である業者からの業務完了報告書について仕様書に記載し、適切な履行確認が行われるよう改めること。

意 見

- ① 内部事務管理について
- ② 小中学校における教職員の働き方改革について
- ③ 小中学校における給食事業について

教育委員会 人権・同和教育課 (詳細はP200～204)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク【意見】
- ③ 委託事業における検証のリスク

指 摘

委託経費の変更において、仕様書に「需用費（消耗品費）は、委託料総額の20%

程度までとする。」と明記しており、変更により20%超になったものの軽微な変更とみなし承認したが、協議内容を記録に残していなかった。また、委託料の減額の精算が行われたが、その積算根拠となる収支決算書は添付が漏れていた。内容の証拠書類であるため今後必ず残し、委託仕様書に定める添付書類は十分チェックすること。

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② メディア・リテラシー養成を通じた人権教育推進事業について
- ③ 教育課題の支援体制について
- ④ 保育園・幼稚園・こども園職員の研修について
- ⑤ 人権教育について
- ⑥ 四日市人権・同和教育研究会事業について
- ⑦ 地域の児童生徒の自主自立支援について
- ⑧ 公有財産の管理について

教育委員会 指導課 （詳細はP205～209）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 個人情報の取り扱いにおけるリスク

評価

個人情報の含まれる電子データについては、パスワード設定を行い、適切に管理を行っている。今後も継続して管理を行うとともに、パスワードについては随時変更していくこと。

- ③ 所属を超えた情報共有におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 電子教材を活用した学力の育成について
- ③ スクールカウンセラー等と学校の連携について
- ④ 部活動指導における指導員及び協力員の配置について
- ⑤ 部活動の地域移行について
- ⑥ 行政施策の浸透について
- ⑦ 小学校高学年の教科担任制について
- ⑧ 通学路の交通安全確保について
- ⑨ 業務委託契約の履行確認について
- ⑩ 現金等の適正な取り扱いについて

教育委員会 教育支援課 （詳細はP210～215）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク

③ 学校における個人情報の管理におけるリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② ICT技術活用の推進について
- ③ 不登校児童生徒への対応について
- ④ 教員の資質・能力の向上について
- ⑤ 教育相談への対応について

環境部 環境政策課 （詳細はP216～220）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク

指 摘

厚生労働省の定めている過労死等労災認定基準を上回る勤務状況が発現し、かつ職員の時間外勤務が恒常化しており、時間外勤務が年間360時間を超える職員が多く見受けられた。所属長は、職員の時間外勤務を分析して、職員配置や業務分担の再確認等を行うこと。加えて、職員のワーク・ライフ・バランスの充実に努めるため、働きやすい職場環境づくりを行いながら、職員を守るためにもしっかりと働き方改革の取り組みを進めること。また、AI技術の活用等による業務改善をはじめとする業務効率化等による時間外勤務の削減に早急に取り組み、過労死等労災認定基準を上回る状況の解消を実現すること。

- ② 職員配置におけるリスク
- ③ 工場等への立入調査時の高所設備の確認作業におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 特定外来生物の捕獲・処分について
- ③ 公害保健福祉事業等の実施について
- ④ 環境保全の周知について
- ⑤ 主要施策における説明の記載について
- ⑥ 単独随意契約における事務手続きについて
- ⑦ 必要な人員の確保について

環境部 四日市公害と環境未来館 （詳細はP221～225）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置のリスク
- ③ 収蔵品の適正管理に係るリスク【意見】

指 摘

同館の資料は博物館と共用の収蔵庫で保管しているが、実査が行われていない。実査方法について早急に博物館と協議の上、実査を開始すること。

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 意見

- ① 内部事務管理について
- ② 博物館との連携について
- ③ 語り部の減少による四日市公害の歴史と教訓の伝承について
- ④ 環境技術の見識を有する市職員の確保について
- ⑤ 学術機関との連携について
- ⑥ エコパートナー環境学習等業務委託事業について
- ⑦ 環境学習事業等運營業務委託について

環境部 生活環境課 （詳細はP226～232）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク【意見】
- ③ 滞納債権の整理におけるリスク
- ④ 公有財産の管理におけるリスク

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 指摘

業務委託の管理について

業務委託契約において、毎月の提出を義務付けている業務報告が一部提出されておらず、結果的に年度末に一部契約不履行となり違約金を受け取った事例が見受けられた。今回は実質的な影響はなかったが、法定点検が規定通り行われなかったことは重大な問題であり、契約相手方と連絡が取れないなどトラブルが起きた場合には他の業者に依頼するなど、市として緊張感を持って、速やかに適切な対応をとること。

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 環境事業課との業務区分の整理について
- ③ 北大谷斎場への職員の配置について
- ④ 墓じまいや改葬の方法等の周知について
- ⑤ 市営霊園の使用者調査について
- ⑥ 資源集団回収助成金について
- ⑦ 食品ロス削減の取り組みについて

環境部 環境事業課 （詳細はP233～238）

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク【意見】
- ② 職員配置におけるリスク【意見】
- ③ 公有財産が適切に管理されないリスク【意見】

2 3 E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果 指摘

業務委託の管理について

業務委託契約において、毎月の提出を義務付けている業務報告が一部提出されておらず、結果的に年度末に一部契約不履行となり違約金を受け取った事例が見受けられた。今回は実質的な影響はなかったが、法定点検が規定通り行われなかったことは重大な問題であり、契約相手方と連絡が取れないなどトラブルが起きた場合には他の業者に依頼するなど、市として緊張感を持って、速やかに適切な対応をとること。

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 不法投棄、資源物持ち去りなど不法行為への対応について
- ③ 所属の分離、独立による効果的な事業展開について
- ④ 職員間のコミュニケーションについて
- ⑤ 工事の繰越しについて
- ⑥ 旧北部清掃工場の解体について

評価

次世代教育としての施設の有効活用について

クリーンセンターは、ひと昔前のごみ処理施設のイメージとはかけ離れたきれいな施設であり、教育機能も有している。廃棄物対策について大切なことを、子どもたちにわかりやすく伝えられていることがとても評価できる。その内容についても、時代の変遷を注視し、その都度、適切な内容に更新可能な展示としていることに工夫がみられる。

監査事務局 (詳細はP239～243)

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

- ① 職員のワーク・ライフ・バランスの確保や健康を阻害するリスク **【意見】**
- ② 事務の継承等に係るリスク
- ③ 監査事務局内の内部統制が適切になされないリスク **【意見】**
- ④ 監査基準、規則等の制定改廃における法的審査にかかるリスク

2 3E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意見

- ① 内部事務管理について
- ② 監査事務の効率化について
- ③ 包括外部監査制度の導入に向けた準備について
- ④ 公の施設の指定管理者監査について
- ⑤ 過去からの監査結果の活用について
- ⑥ 住民監査請求への対応について
- ⑦ 監査結果の議会での活用について
- ⑧ スキルを有する職員の確保等について
- ⑨ ホームページの周知活用について